上等葬祭圖式

全

上等葬祭圖式序

霊幸ふ神の御國に生れ来し人ハ皆
ハ何れも神の末に非ざるものなし。神の御末にあ
らざるものはあらざることなれば命死なむ後も神に
なることなり外のなき事なれば。然れば其葬の儀
も後の祭も神の道に随ふべき相応しきわざ
にはあれども然るに三業の中にもなほしらまに。
外国の邪道の乱れる随に儀も何もも
かたはなりて今ハ浸事と成りて其後は。若

上古の神祭の法(ノリ)はしも。世に知らるゝもの那
久なりにたるなるを。佛法も東にきてより。いとも悲(カナ)
しき事(ワザ)なりけり。教部中録常世長胤
主は。若きほどより理論の道を尊び祭る
式(ノリ)なんどを深く考へ。其筋の書(フミ)等(ドモ)をも読明らめ
たるに。ふかく暁(サト)り得られしとぞ。されば読明らかなり
ある人。暁り得られし。此千年ばかり癈絶(スタレ)たりし
し葬式(ハフリノノリ)を。いかで引(ヒキ)興(オコ)さむと勤(イソ)しみ給へる程
に。官(ツカサ)高き筋にも。あまたゝび請(コ)ひ給ひ。其

事執(トリ)行(オコナ)はれたりとなむ。故(カレ)此度何某主の古
記書どもを拠考へ合せ。はた自身(ミヅカラ)なしたる所
ありて。其葬(ハフリ)式(ノリ)は更なり。其用具(ウツハモノ)をも添へ有。
目安く圖(カタ)に物し。又それに係(アヅカ)る数種(クサド)の祝詞(ノリト)
等(ドモ)を書そへられて。其事取行はむ人等を導き教へ
むとせられしは。いともいとも忠(マメ)しき所行(ミワザ)なりけり
なりけり。抑此書の世に出なむやには。なれまし
事へる。葬儀(ハフリノワザ)祭式(マツリノノリ)は古道ある理に拘すること無く。
これによりて拘泥らむ人は。彼異(ケ)しき支妖(マガ)

物(モノ)にならば舊記惑(マド)ひもなく限りなき遠き世の塚に行迷(マヨ)ふ愁(ウレ)ひもなからめ。神の恩恵ある人々悉(コトゴ)く神と成りぬれ。幽界(カクリヨ)の政事(ミナハヒ)をしらしめす事て。後の世はまし人ありぬれど。何那か悦(ウムガ)き氏書なるべき無く。將ぞばし記錄ぬれど勤功(イサヲ)ぬる物も。此れ事時なし。明治七年と云ふ年の春。祭主兼大教正從三位三条西季知志るす。

上等葬祭圖式

教部中録常世長胤撰

此書(フミ)ハ。官位高キ人等(タチ)ノ葬祭ニ係(アヅカリ)テ。數度(アマタタビ)執擬(トリマカナ)ヒタル記録(フミ)等(ドモ)ヲ本種(ツ)トシテ。目安ク圖式(カタ)ニ撰定タレバ。斂具及祭具ノ品物。員數寸法等ニ至ル迄。万事際(キハ)ヤカニ記載(シルシノ)スルト雖モ。総(スベ)テ失費ニ關係スル事物ハ。其分限(ホドホド)ニ應テ。増補節略スルコトハ喪主ノ意ニ任スベシ。喪主ハ嗣子タルベシ。若シ子ナケレバ。近親之ニ代(カハ)ルベシ。偖又祝詞(ノリト)竝(ナラビ)ニ誄(シノビゴト)等ハ。招魂祭ノ詞ヨリ春秋靈祭ノ詞(コトバ)ニ至迄。都合(アハセテ)七(ナヽ)章(クダリ)ニ撰ビ。折本ニ載(ノセ)テ。別巻ニ附(ソ)ヘタリ。

○

一病者命終ラバ戸長ニ告ゲ産土神社ニ達シ葬祭ノ式法ハ総テ神官或ハ教導職ニ委ヌベシ

一遺體ハ北ヲ枕ニシテ面ニ白布ヲ覆ヒ仰ニ伏サシメ其枕邊ニ守刀或ハ守鏡等ヲ置キ屏風ヲ建廻シ机ヲ設ケ常膳ニ塩水等ヲ供ヘ夜ハ燈ヲ點シ傍ニ陳列シテ内外ヲ戒メ安靜ニシテ喧擾ナラシムル事勿レ

一葬祭ノ等差ヲ議定シ圖式ヲ見合テ歛具祭具ヲ造ラシメ且招魂祭入棺葬送ノ日時葬地等ヲ定ムベシ

一葬具出納應接葬所行列等其外ノ掛ヽヲ定メ置クベシ

○

一神官或ハ教導職等葬祭ニ臨マバ先次第（図式見合ベシ）且齋主（宮司祠官又教導職）祓主（祢宜祠掌又教導職）桃葪（同上）供物（同上）葬所（同上）後取等ノ掛ヽヲ定ムベシ

一招魂祭ハ祭具ノ備ルヲ待テ㝡初ニ執行ヒ既ク靈魂ヲ祭リ鎮テ喪主及ビ近親等ノ方向ヲ定ムベシ

一葬祭ハ顯世ノ別レニテ悲歎ノ極ナレバ喪主及近親等ノ憂ヲ取総テ之ヲ祝詞誄ニ云ヒ申ベ且音聲ノ曲節ニモ自ラ其情ヲ顯ハシテ幽顯ニ貫徹セシメンコヲ要スベシ

○招魂祭ノ次第

預テ于祭場ニ張リ注連繩ヲ敷キ箐薦ヲ高案ノ上ニ安置シ靈璽ヲ供ヘ大麻及ビ塩湯ヲ整ニ頓ス裝束ヲ

次　齋主神官及ビ樂人等就ク席ニ

次　喪主喪婦及ビ近親等就ク席ニ

次　申ス祓詞ヲ　　祓主役ス之ヲ

次　拍ツ手ヲ　短手　　先ヅ祓主齋主神官應ズ之ニ

次　曳ク大麻ヲ　　後取役ス之ヲ

次　灑グ塩湯ヲ　　同上

次　招ク魂ヲ　　齋主役ス之ヲ

次　警蹕　　後取役ス之ヲ

次　再拜　　先ヅ齋主神官應ズ之ニ

次　拍ツ手ヲ　短手　　同上

次　供フ物ヲ　　神官傳供

次　此間音樂　　樂人役ス之ヲ

次　申ス祝詞ヲ　　齋主役ス之ヲ

次　再拜　　先ヅ齋主神官應ズ之ニ

次　拍ツ手ヲ　短手　　同上

次　喪主喪婦及ビ近親等獻リ玉串ヲ再拜メ拍ツ手ヲ　短手

次撤供物ヲ 此間音樂 神官傳撤

樂人役ス之ヲ

次一拜 齋主役ス之ヲ

次拍退手ヲ 先ヅ齋主・神官應ズ之ニ

次各退席ヲ

右供物品目

盃 一坏 甕 一對

洗米 附枚葉 一坏 鏡餅 同上 一坏

魚 同上 一坏 菓 同上 一坏

藻菜 一坏 甘菜辛菜 一坏

堅塩 附平瓫 一坏 淨水 一坏

以上

○甘菜 芹・野蜀葵・獨活・茄子・干瓢・山芋・椎茸・松蕈・胡蘿蔔・大豆・小豆ノ類 ○辛菜 山葵・生姜・大根・葱ノ類 ○菓 蜜柑・梨・甜瓜・西瓜・瓜・柹・栗ノ類 ○毛和物 雁・鴨・雉子・鳩ノ類 ○毛麁物 猪・鹿・兔ノ類・ ○鰭廣物 鯛・鰹魚ノ類・ ○鰭狹物 鮑・鰕・鰯・烏賊・其外河魚ノ類・ ○藻菜 昆布・若和布・荒和布・ノ類・ ○枚葉 柏葉ノ類・

右祭具圖

霊璽鏡（タマシロノカガミ）一面

表

径二寸五分位

裏

官位姓名之霊
年号
月日

霊璽ハ鏡.短刀.玉.其外望ニ任スベシ.

霊璽袋（フクロ）一枚

長サ八寸七分位
口径二寸八分位

白羽二重ヲ以テ両口ニ製ル.

霊璽ヲ袋ニ納（イレ）テ.左右ヲ折掛タル圖.

衾褥（フスマシトネ）各一枚

圍リ八寸位

白羽二重ニ綿ヲ入テ製ル.

樋代（ヒシロ）一具

樋代ハ霊璽ノ形ニ随テ造ルモノナレバ.箱ノ類ヲ用ルモ可ナリ.

蓋（フタ）

内径二寸八分位
高サ二寸六分位

檜ヲ曲テ製ル.

帊（オホヒ）一枚

径三寸一分位
高サ二寸八分位

官位姓名之霊璽

表羽二重裏麻晒ニテ製ル.

表ニ如此書ベシ.

樋代ニ霊璽ヲ納（イレ）テ.帊ヲオホヒ注連縄ヲ曳（ヒキ）タル圖.

霊屋（タマヤ）一宇

高サ一尺位

材ハ檜ヲ以テ冣上トス。又杉ニ略クモ妨ナシ。

水器（ミツケ）二口　一口ハ塩湯料。一口ハ寄辺水料。

高サ二寸八分位

製同上

大麻（オホヌサ）一本

高サ四尺位

麻ハ祓ノ料

串ハ榊ト竹ヲ合テ製ル。垂（シデ）ハ四垂ノ紙ト麻ヲ以テ製ル。

榊（サカキ）三本

高サ三尺位

二本ハ霊屋ノ左右ニ立ル料。一本ハ喪主ノ玉串料。

垂（シデ）三色ノ絹各一尺ヲ以テ製ル。三本ノ榊ニ著ル垂料。

筒三具

高サ九寸位

筒青竹　臺樅

榊ニ垂ヲ著テ筒ニ立タル圖。

高案(タカツクエ)三脚

長サ五尺八寸位

巾一尺三寸位

板厚サ一寸位

一ハ霊屋ヲ載ル料。高サ三尺八寸位・二ハ供物献備料。高サ二尺八寸位。

材ハ檜又杉樅ニ略クモ妨ナシ。

皿(サラ)二口

燈臺四基

高サ三尺八寸位

玉串案(タマクシツクヱ)一脚

長サ二尺五寸位

巾一尺一寸位

高サ九寸位

甕(ミカ)二口

五合入

土焼

土焼内面ハ薬ヲヌリテ製ル。

花瓶(ハナカメ)二口 高サ一尺位

土焼

竹筒ニ略クモ妨ナシ。

盃(サカツキ)一口

土焼

水器(ミヅケ)一口

内径三寸

高サ二寸八分

檜ヲ曲テ製ル。

高坏(タカツキ)十二枚

角切

角九寸

高サ八寸五分

土焼

檜

又三方ニ略クモ妨ナシ。

祭場圖

榊
霊屋
榊
燈
盃
甕
餅
菓
菜
水
玉串
花
喪主
喪婦
近親
家族

榊
燈
塩
藻菜
魚
洗米
甕
花
齋主
後取
副斎主
楽人
神官

○地鎮祭次第

先ヅ攘ヒ清テ葬所ヲ敷キ簀薦ヲ置テ高案ヲ設ク祭場ヲ

次　神官就ク席ニ　　次　獻ル神饌ヲ

次　申ス祝詞ヲ　　次　四拜

次　拍ツ八枚手ヲ　　次　撤ス神饌ヲ

次　一拜　　次　拍ツ手ヲ短手

次　退ク席ヲ

畢

此祭終ラバ壙ヲ造リ始メシムベシ。但シ此祭ハ新ニ墓所ヲ定ル時ノ外ハ略クモ妨ナシ

右神饌品目

盃	一坏	甕	一對
洗米	一坏	魚	一坏
甘菜辛菜	一坏	藻菜	一坏
堅塩	一坏	淨水	一坏

以上

此祭具ハ招魂祭ノ料ヲ用ルモ妨ナシ。

○入棺

遺體ヲ棺ニ斂ル人ハ。近親ニ限ルベシ。命終テ廿四時前ニハ斂ムベカラズ。

其儀先ヅ新衣ヲ加ヘテ。旧衣ヲ脱シメ。棺ノ内ニ新褥ヲ敷キ。新枕ヲ居置キ。其上ニ移シテ。沐浴ナド行フベカラズ。又金銀銅鉄ノ類ハ納ムベカラズ。新衾ヲ覆ヒ。礼服及ヒ中啓等ヲ加ヘ。空虧ニハ充袋ヲ詰。蓋ヲ閉テ槨ニ斂メ。棺ト槨トノ透ニハ炭末ヲ詰。又蓋ヲサシテ帊ヲオホヒ。槨ナケレバ。直ニ棺ニ帊ヲオホフベシ。凳子ニ載テ。便宜ノ室ニ安置シ。朝夕ノ供物ニ。塩水等ヲ獻ルベシ。

右斂具

服　白絹又ハ白晒　帯　同上

足袋　此ハ夏冬ノ差別アルベシ。何レモ白ニ製ルベシ。

礼服

冠　又ハ烏帽子　袍　生絹或ハ白麻等ヲ以テ製ル。又直垂ニ略クモ妨ナシ。

差袴　同上　中啓

婦人ノ礼服

帽衣　白絹又ハ白晒ヲ以テ製ル。　打衣　同上

袴　同上　檜扇

墓誌一枚

長サ七寸位　厚サ三分位

巾サ三寸

某府縣華士族或ハ国郡宿町村之平民

故官位姓名之柩

年号月日卒

銅ヲ以テ製ル

是ハ埋葬ノ時棺上土一尺五寸程上ニ蔵ムベシ。

蓋

棺

外長サ六尺位

惣高サ一尺三寸位

外巾二尺三寸

板厚サ一寸余

材ハ桧ヲ以テ最上トス又樅ヲ用モ可ナリ。

帊（オホヒ）

長サ六尺三寸八分位

高サ一尺六寸八分位

巾二尺七寸八分位

表素絹
裏麻
又表白裏
ト白
麻ニモ略
クモ
ナシ妨

凳子（コシダイ）二脚

長サ三尺五寸位

巾一尺位

高サ二尺四寸位

葢（フタ）

槨（クワク）

外長サ六尺三寸位

外高サ一尺六寸位

外巾二尺七寸位

板厚サ一寸余

松板
ヲ用
フ

遺體ヲ棺ニ歛テ安置レタル圖

○發葬祭次第

先ヅ本日本時棺前ニ置テ高案ヲ整頓ス祭場之裝束ヲ

次　齋主神官及ビ樂人就ク席ニ

次　喪主喪婦及ビ近親就ク席ニ

次　供ズ物ヲ　　神官傳供

　　此間音樂　　樂人役ス之ヲ

次　申ス告ヲ　　齋主役ス之ヲ

次　再拜　　先ヅ齋主神官應ズ之ニ

次　拍ツ手ヲ　　同上

次　喪主・喪婦・及ビ近親各献テ玉串ヲ再拜メ拍ツ手ヲ　短手

次　會葬人各再拜メ拍ツ手ヲ

次　撤ス供物ヲ　　神官傳撤

此間音樂　　樂人役ス之ヲ

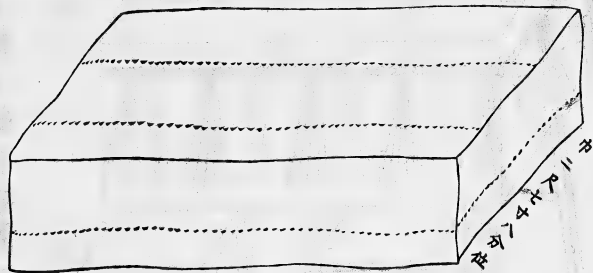
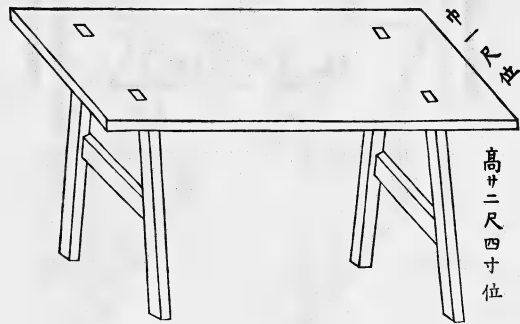
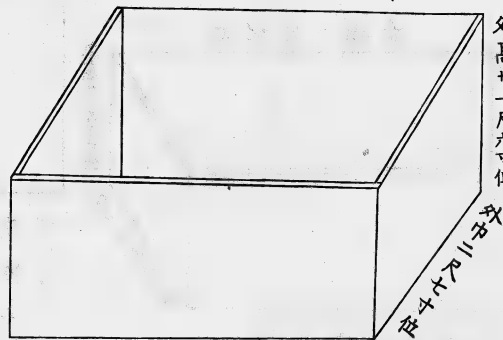
次　一拜　　齋主役ス之ヲ

次　拍ツ退手ヲ　　先ヅ齋主神官應ズ之ニ

次　舉テ棺ヲ整ヘ行列ヲ　　行列掛役ス之ヲ

次　齋主・神官・及ビ喪主・喪婦・近親其佗隨從列メ于前後ニ出ヅ門ヲ

畢

右供物品目

品目	數	品目	數
盃	一坏	甕	一對
飯　附枚葉（ヒラデ）	一坏	鏡餅　同上	一坏
魚　同上	一坏	甘菜辛菜	一坏
菓　附枚葉	一坏	藻菜	一坏
堅塩　附枚瓮（ヒラカ）	一坏	淨水	一坏

以上

此祭具ハ・葬所祭ノ料ヲ用フベシ

右行列圖

一

白杖 白丁一人
松明 白丁一人
篝 白丁一人

白杖 白丁一人
松明 白丁一人
篝 白丁一人

二

前駆 口附白丁一人
大榊 白丁二人

桃苅神官 馬上口附白丁一人

前駆 口附白丁一人
大榊 白丁二人

三

白旗 白丁一人
神官 馬上口附白丁一人

供物辛櫃 白丁四人

白旗 白丁一人
神官 馬上口附白丁一人

四

高案 白丁一人
高案 白丁一人
赤旗 白丁一人

高案 白丁一人
玉串案 白丁一人
赤旗 白丁一人

五

樂人

樂人

樂人

樂器 白丁二人

樂人

樂人

樂人

六

白旗 白丁一人

從者 直垂一人

傘持 白丁一人

赤旗 白丁一人

齋主 馬上口附 白丁二人

白旗 白丁一人

從者 直垂一人

沓取 白丁一人

赤旗 白丁一人

七

白旗 白丁一人

作花 白丁一人

銘旌 白丁二人

赤旗 白丁一人

作花 白丁一人

八

大榊 白丁二人

隨人 馬上口附 白丁一人

護喪

太刀 直垂一人

大榊 白丁二人

隨人 馬上口附 白丁一人

護喪

九

護喪　護喪　護喪　神官 馬上口附 白丁一人

柩 白丁白丁　杖 白丁一人　蓋 白丁一人　香 白丁一人　牽馬 口附白丁二人

護喪　護喪　護喪　神官 馬上口附 白丁一人

十

翣子 白丁一人

墓標 白丁

從者 直垂一人　喪主 馬上口附 白丁二人　從者 直垂一人

翣子 白丁一人

十一

近親男　近親男　近親男

從者 直垂一人

近親男　近親男　近親男

喪婦 乗物 白丁

從者 直垂一人

十二

近親女　近親女　近親女

齋主兩掛 白丁一人

近親女　近親女　近親女

十三

籠長持 白丁二人

以下列外

會葬人各

以下列外

以上

此外左右ニ行列掛ヲ加ヘ又夜ハ松明ヲ増シ其時々ノ分限ニ應テ取捨スベシ

右發葬具

白杖(シラツエ)二本　長サ五尺八寸位　材ハ杉

杖嚢(ツエフクロ)二枚　長サ同上　素麻(シロアサ)

松明(タイマツ)二本　長サ四尺余　麻茎(アサカラ)又ハ竹ニテモ妨ナシ

箒(ハヽキ)二本　長サ四尺余

掘大榊(ネコジノオホサカキ)四本　長サ一丈位

五色絹(イツイロノキヌ)廿流　各六尺余・大榊ニ著ル垂料。

榊ニ垂ヲ著(ツク)タル圖。

白旗(シラハタ)五流　長サ七尺五寸位　素絹(シロキヌ)

赤旗五流

長サ七尺五寸位

素絹

旗竿十本

長サ一丈余

青竹

盃一口

土焼

甕二口

五合入

土焼

花瓶二口

高サ一尺位

土焼

竹筒ニ略クモ妨ナシ。

辛櫃一合

長サ五尺
巾二尺
高サ一尺九寸
四寸五分
五寸五分
五寸五分

帊

長サ五尺二寸五分
巾二尺五寸五分
高サ一尺九寸八分

素絹又ハ素麻

辛櫃ニ帊ヲオホヒ注連縄ヲ曳タル圖

紅梅雉子(コウバイニキヾシ)作花
高サ七尺余

高案(タカツクヱ)三脚 供物ヲ獻備スル料。
長サ五尺八寸位
巾一尺ヨリ二寸位
高サ二尺八寸位
材ハ檜。又ハ樅杉ニ略クモ妨ナシ。
玉串案(タマクシツクヱ)一脚
長サ二尺五寸位
巾一尺寸位
高サ九寸位

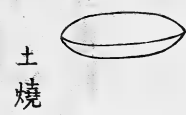
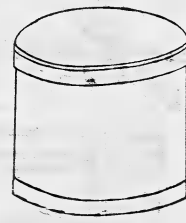
若松鬚籠（ワカマツニヒゲコ） 作花

高サ七尺余

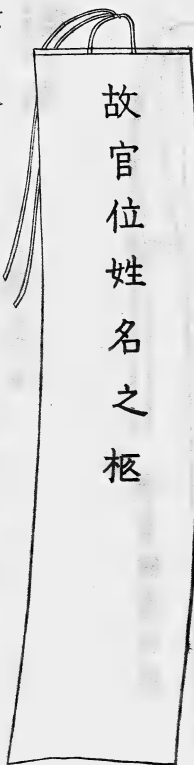
籠ニハ菓（コノミ）ヲ入ベシ

萩鶉（ハギニウヅラ） 同上

高サ七尺余

紅楓鴨（モミヂニカモ） 作花

高サ七尺余

作花ハ四季ニ依テ用ルモノナレバ大抵（オホカタ）ノ雛形ヲ出スノミナリ又略クモ妨ナシ

銘旗 一流 長サ八尺五寸位 素絹

旗竿（ハタサヲ） 一本 長サ一丈一尺余

白木弓（シラキノユミ） 二張 随人ノ持料

白羽矢（シラハノヤ） 二手 同上

太刀（タチ）一口

太刀ハ木ヲ以テ製ルモ妨ナシ。婦人ノ發葬ニハ略クベシ。

同袋（フクロ）一枚

表素絹、裏白麻。

棺屋（ヒツギノヤネ）一宇

巾二尺九寸位

長サ六尺六寸位

寸尺ハ棺又ハ槨ニ隨テ製ル。

材ハ檜又ハ樅杉ニ略クモ妨ナシ。

大輦（レンダイ）一基

寸尺ハ棺又ハ槨ノ大小ニ隨テ製ル。

材ハ檜又ハ樅杉ニ略クモ妨ナシ。

大轝ニ棺ヲ載テ屋ヲ覆ヒタル圖

蓋（キヌカサ）一柄

徑リ四尺余

絹巾一尺位

長柄

撞木杖(シモトツヱ)一本

長廿四尺位

同袋(フクロ)一枚

表素絹
裏白麻

沓(クツ)一具

沓臺(クツダイ)一脚

墓標(ハカシルシ)一基

惣高廿一丈位

材ハ檜又ハ樅

故官位姓名之奥墓

手桶(テヲケ)二

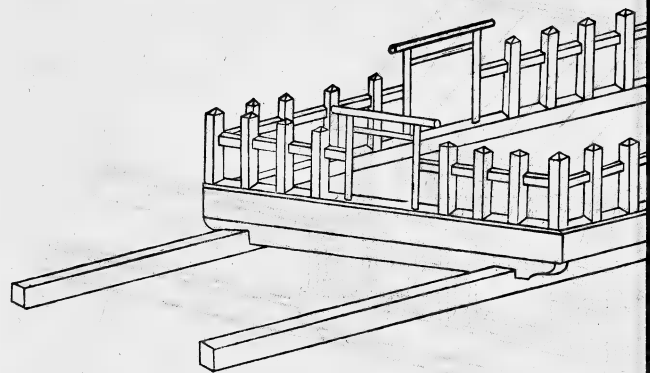
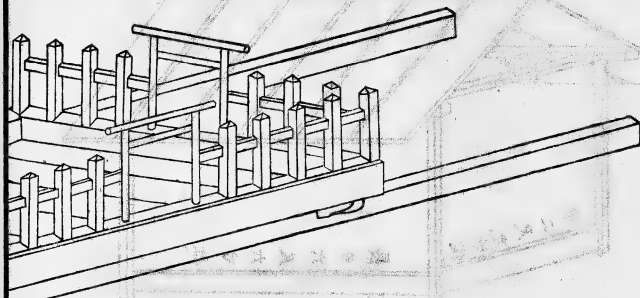
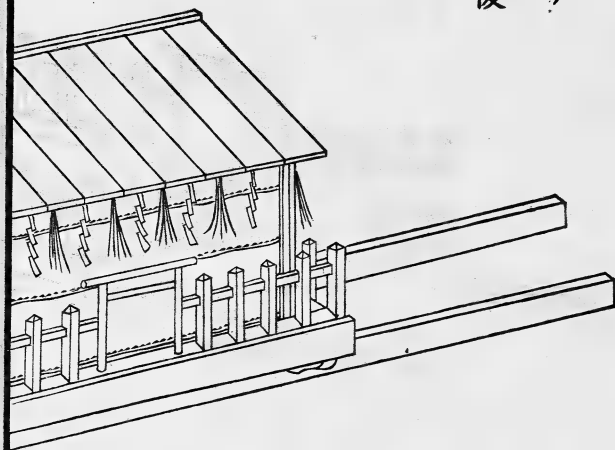
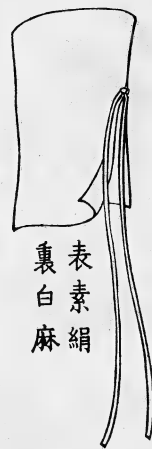
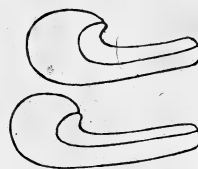
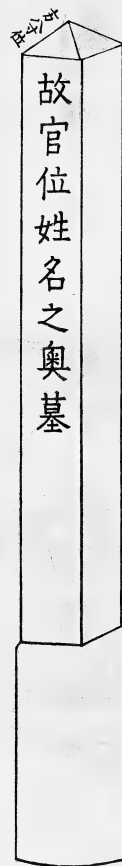
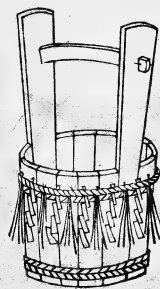
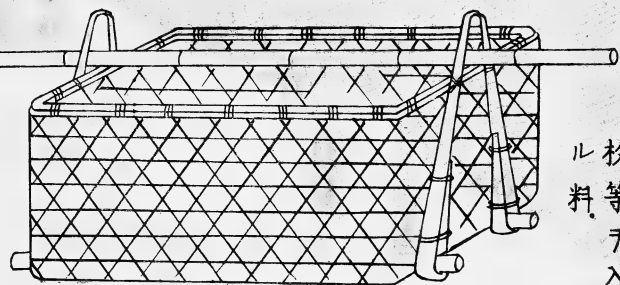
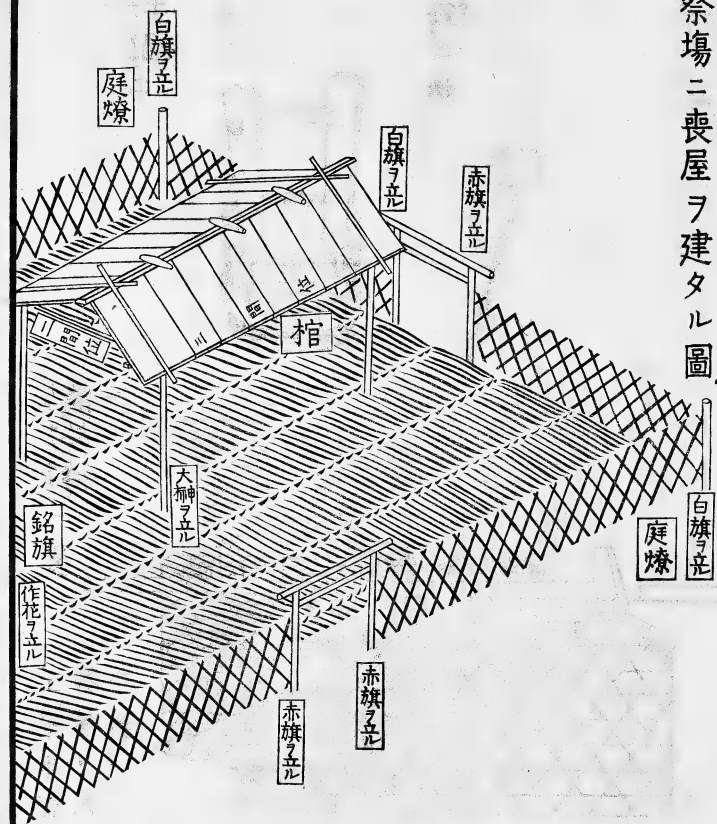
杓(ヒシャク)二柄

籠長持(カゴナガモチ)一荷

玉串手桶杓等ヲ入ル料

祭場ニ喪屋ヲ建タル圖

○葬所祭次第

棺到葬所居于祭場置高案立旗旌榊作花等整頓装束。

赤旗ヲ立ル
赤旗ヲ立ル
庭燎
大榊ヲ立ル
作花ヲ立ル
白旗ヲ立ル
大榊ヲ立ル
大榊ヲ立ル
白旗ヲ立ル
庭燎

次　焚庭燎

次　齋主・神官・及樂人等就席

次　喪主・喪婦・近親・及會葬人等就席

次　供物　　神官傳供

此間音樂　　樂人役之

次　申誄　　齋主役之

次　再拜　　先齋主・神官應之

次　拍手短手　　同上

次　喪主・喪婦・獻玉串再拜拍手短手

次　近親献玉串再拜拍手同上

次　會葬人各拜禮

次　撤供物　　神官傳撤

此間音樂　　樂人役之

次　一拜　　齋主役之

次　拍退手　　先齋主・神官應之

次　各退席

○

次　舉棺送于墓所・神官・喪主・喪婦・及近親等從之

次　下棺于壙

次　喪主喪婦及近親撥土

次　埋墓誌

次　建墓標築塚

次　植榊建鳥居及燈籠

次　一拝　神官役之

次　喪主喪婦及近親各拜禮

次　各退下

畢

右供物

盃　一坏　瓮　一對

飯　附枚葉　一坏　鏡餅　同上　一坏

鰭廣物　同上　一坏　鰭狹物　同上　一坏

毛和物　一坏　毛麁物　一坏

甘菜　一坏　辛菜　一坏

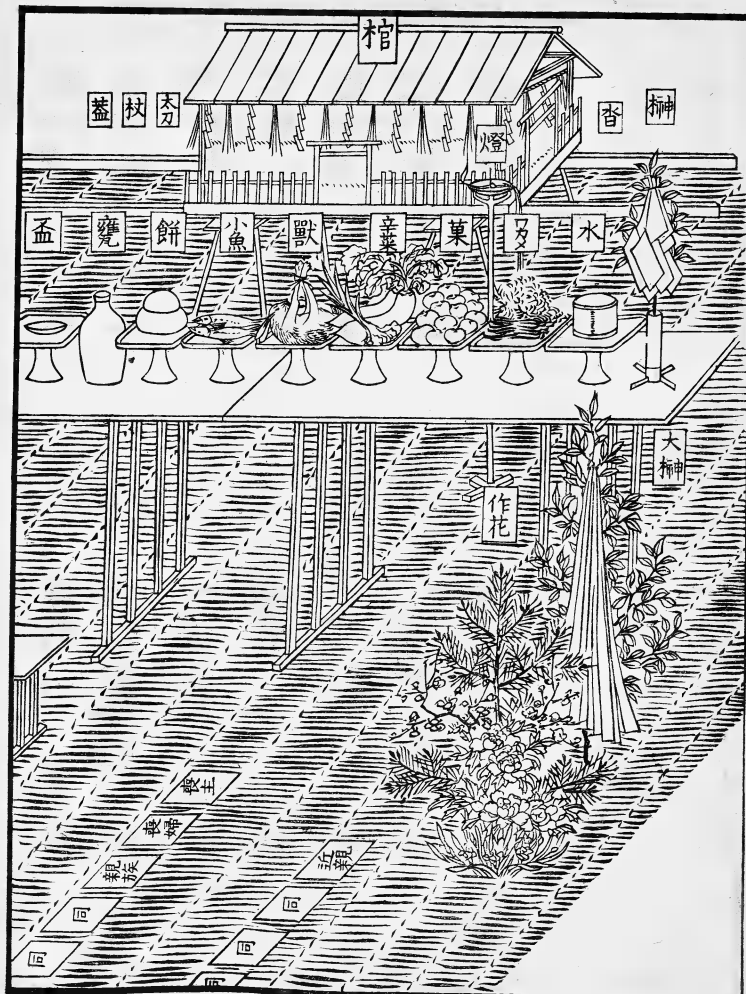
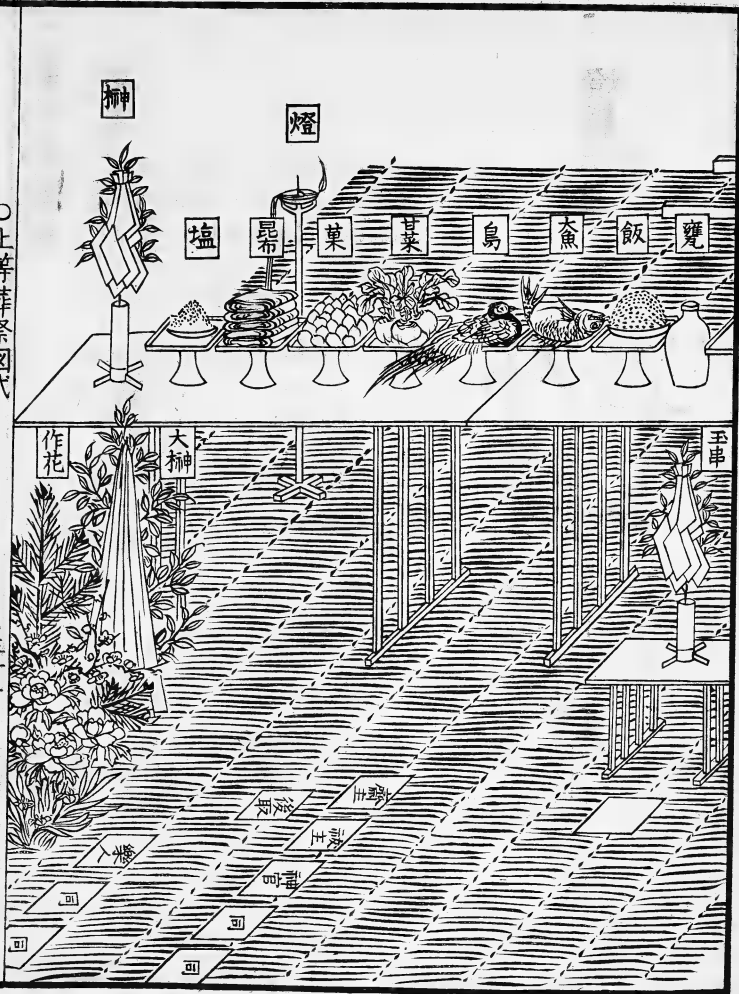
菓　附枚葉　一坏　菓　同上　一坏

奥津藻菜　一坏　邊津藻菜　一坏

堅塩　附枚瓫　一坏　淨水　一坏

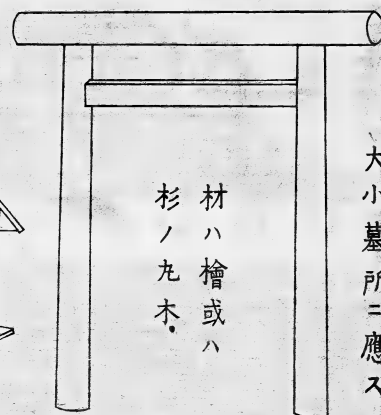
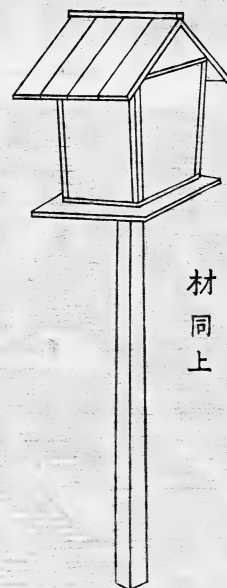
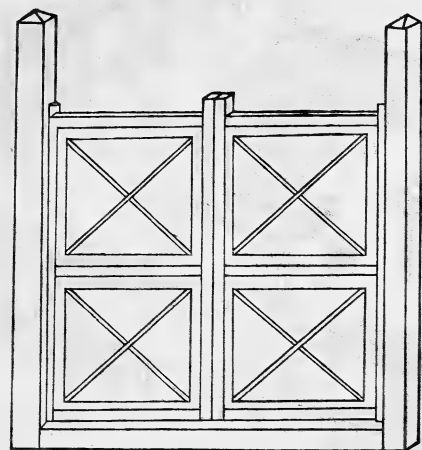
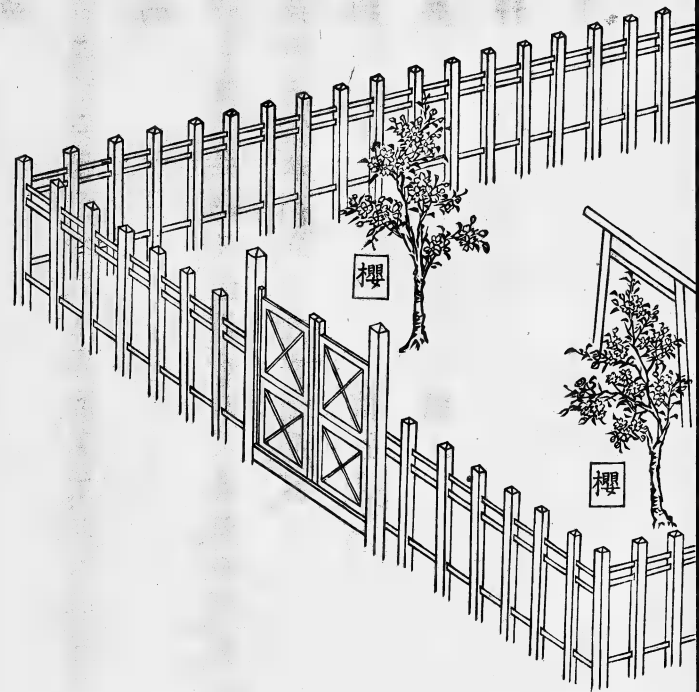
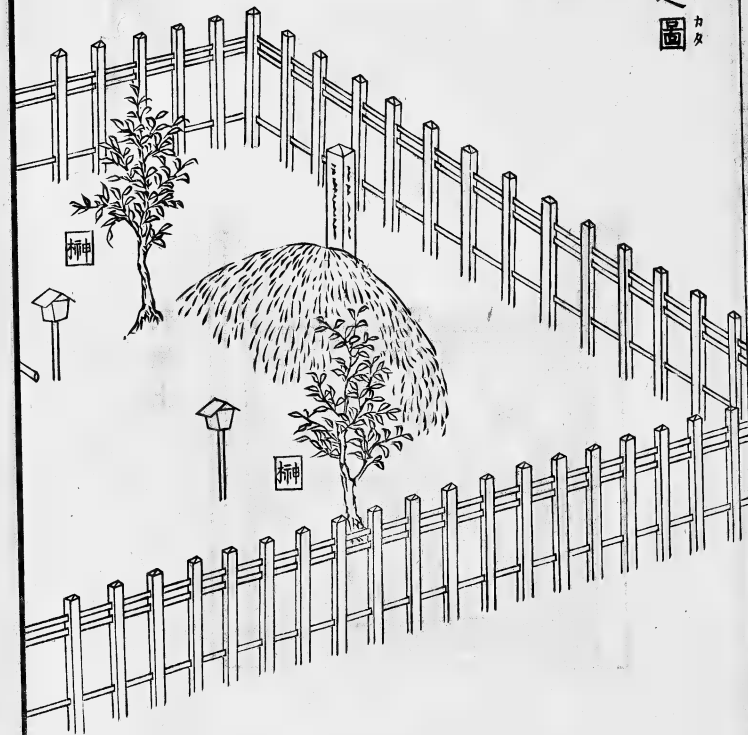
以上

祭場圖

○上等葬祭図式

○墓所建築具（ハカトコロニタツルモノ）

鳥居一基

大小墓所ニ應ズ。

材ハ檜或ハ杉ノ丸木。

燈籠二基

材同上

門一基

材同上

墓所之圖（ハカトコロノカタ）

榊

榊

櫻

櫻

○身滌禊祓

預於葬所之近邊或喪家門外之正面置高案立大麻祓主候之左右設淨水

次　齋主神官喪主喪婦及近親會葬人各就祓所先以淨水滌身而高案前列立于左右而受祓

次　申祓詞　祓主役之

次　曳大麻　同上

次　各一拜

次　各退下

畢

○葬後靈祭次第

豫曳大麻灑塩湯祓清喪家之内外而整頓祭場之装束

次　齋主神官及樂人等就席

次　喪主喪婦近親以下就席

次　供物　神官傳供

此間音樂　樂人役之

次　申祝詞　齋主役之

次　再拜　先齋主神官應之

次　拍手短手　同上

次喪主・喪婦・及近親・以下各獻玉串再拜拍手・短手

次撤供物　神官傳撤

此間音樂　樂人役之

次一拜　齋主役之

次拍手退　先齋主神官應之

次各退席

畢

○右供物品目

盃　一杯　甕　一對

飯 附枚葉　一坏　鏡餅 同上　一坏

鰭廣物 同上　一坏　鰭狹物 同上　一坏

鳥　一坏　甘菜　一坏

辛菜　一坏　菓 附枚葉　一坏

奥津藻菜　一坏　邊津藻菜　一坏

堅塩 附枚瓮　一坏　淨水　一坏

以上

此祭ハ葬リ終テ家ニ歸リタル夜カ又ハ翌日ニ行フベシ

○追祭

一殁日ヨリ四十九日ノ間日々ニ酒饌ヲ供ヘテ拜礼スベシ

一七日毎ニ酒饌ヲ厚クシテ靈祭ヲ行フベシ（其次第供物等葬後靈祭ノ次第ニ照準シテ行フベシ）

一四十九日ノ忌明ニ至ラバ早旦一家浴潔シ火ヲ改メ靈璽ヲ家廟ニ移シテ靈祭ヲ行フベシ（其次第同上）

一百日ノ期ニ至リテ又靈祭ヲ行ヒ此日墓碑ヲ建テ墓標ヲ除クベシ（其次第同上）

一毎年正辰（死者ノ本月本日ヲ云フ）家廟ニテ靈祭ヲ行フベシ（其次第同上）

父母ノ正辰ハ假令官員ト雖モ一日ノ御暇ヲ賜ヒテ齋（イツキ）祭ラシメ給フ當今ノ御掟ナレバ厚ク心ヲ用ヒ其靈魂ヲ慰テ孝敬ノ實ヲ盡スベシ

○

一毎年春秋二季（仲月ヲ用ヒ祭日ヲ撰ブ）先祖代々ヲ合テ靈祭ヲ行フベシ偖春ノ祭ハ其年ノ無事ヲ祈ル祭ナリ又秋ノ祭ハ報恩ノ祭ナレバ新穀ハ勿論万珍シキ新物ヲ以テ祭ルベシ

右靈祭スル毎ニ必ズ墓所ヘ參詣スベシ

彫工　木邨房義